

式辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんの中学校生活は、新型コロナウイルス感染症の影響がとても大きかったことと推察しています。そのような中にあっても日頃の学習を大切に、さまざまな面で自分を磨いてきたからこそ、本校の厳しい入学試験を突破して、本日ここに入学を許可されることになりました。改めて、これまでの努力に敬意を表します。また、愛情をもってその努力を支えてこられた保護者の皆様には心からお祝い申し上げます。

未だ新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、入学後も当面はコロナ禍での学校生活が継続することになります。状況に応じながら、授業や学校行事、部活動などに積極的に取り組み、自らが思い描いた充実した学校生活を追い求められることを期待します。

さて、本校での生活を始めるにあたり、新入生の皆さんに3つのことを求めます。

まず第一に、本校の生徒であるということに自信と誇りをもっていただきたい。本校は昭和22年の開校以来、75年の輝かしい歩みを続け、数多くの有為な人材を輩出してきた学校です。全国的にも数少ない、日本海側では唯一の国立高校です。SGH（スーパーグローバルハイスクール）やWWL（ワールドワイドラーニング）の拠点校に指定され、大学や企業、地域などと連携して地球サイズの教育を実践し、グローバル人材の育成に力をいれているオンリー1の学校です。

2つめは、本校の伝統的校風「自主自律」の精神を大切にしていきたい。自律は自分を律するということです。これは容易なことではありません。本校の「自主自律」はモラルとマナーに立脚したものであることを早く理解し、一日も早く真の附属高校生になってください。皆さんは3年生になると成人になります。「自主自律」の精神を身に付けたグローバル人材に成長し、日本はもちろん世界をリードする存在になってください。

3つ目は、良きライバルを見つけ切磋琢磨し、「ひとつ上の自分」を追い求めていただきたい。本校に入学する生徒は、様々な面で高い能力をもっています。そのため、自分に劣等感を感じてしまうことがあるかもしれません。しかし、それは本校に入学したからこそ経験できることだと考えてください。「仲間に自分を育ててもらい、自分も仲間を育て、仲間と共に学校をつくる」という気概をもってください。

本校の先生方は質が高く分かりやすい授業を目ざしています。「昭和の松下村塾」を標榜して創設された小規模な学校です。現在でも教師と生徒の距離を近く保ち、共に学ぶ姿勢を大切にしています。先生方と共に「令和の松下村塾」創り上げていきましょう。

最後になりますが、保護者の皆様、改めましてお子様のご入学、誠におめでとうございます。私は、教職に就いて以来、自分の勤務する学校を、多くの中学生が入学したいと思う学校、入学して良かったと思える学校にしたいと思っています。そして、ご家庭の方々が是非進学させたいと望む学校、進学させて良かったと思っただけの学校を創りたいと思います。お子様が充実した高校生活を送り、自分の将来に向け高い志をもつことが

できるよう職員一同全力でサポートしてまいります。本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、式辞といたします。

令和4年4月8日

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校長 中澤宏一